



ツンドク

2021年2月発行 第9号
発行：市立名寄図書館
名寄市大通南2丁目 ☎2-4751

開館時間のご案内

本館 * 火・金・土・日	9:30~17:00
水・木	9:30~19:00
分室 * 月~金	9:30~17:00
土	9:30~13:00

『ツンドク』という名前には「本がどんどん積読(つんどく)になるくらいおもしろい本を紹介します」という気持ちが込められています。

こんにちは、市立名寄図書館です。

今年の冬はいつもの年より寒さが厳しく、雪も多かったように感じます。最近ではマスクをする生活にもあまり違和感がなくなってきたように思いますが、風邪などひいてないでしょうか？



3月3日はひなまつりですね。女の子のお家では、ひな人形を飾って、桃の花やひし餅をそなえ、ごちそうを食べたりするのではないのでしょうか。このように、健康と幸せを願う行事として知られているひなまつりの日ですが、その由来は古代中国までさかのぼります。旧暦きゅうれきの3月3日に、紙などで作ったひとがた「人形」を身代りに川や海に流して厄除けをする「上巳じょうしの節句」という習わしが日本になら伝わりました。そのころ日本の貴族の女の子の間で、紙や布でできた人形にんぎょうで遊ぶ「ひいなあそび」が行われており、「上巳の節句」と「ひいなあそび」が結びついたものがひなまつりの始まりとされています。

📖 雑誌、充実しています！

図書館には『nicola』(新潮社)や『non・no』(集英社)、『ダ・ヴィンチ』(メディアファクトリー)や『週刊ファミ通』(KADOKAWA)などの雑誌もあるって知っていましたか？ちなみに『JTB時刻表』(JTBパブリッシング)もひそかに人気です。

他にもスポーツや科学、料理や手芸などさまざまな分野の雑誌が100誌以上ありますので、お気に入りの雑誌を探しに来てください。最新号は貸出不可ですが、館内で読むことができます。棚に入っているバックナンバーは貸出できますので、自宅で一人じっくり読んだり学校で友達とワイワイ読んだりしてみませんか？

📖 SDGs わたしたちができること

「SDGs (エス・ディー・ジーズ)」という言葉が最近あちこちで聞いたり見たりしますね。

SDGs とは英語で「Sustainable Development Goals」の略で、日本では「持続可能な開発目標」と呼ばれています。これは「だれもが幸せに生きるために2030年までに実現させたい17個の目標」を国際連合が定めたもので、地球が直面するさまざまな危機的状況は、国や国際機関などだけが考えればよい問題ではなく、私たち一人ひとりが自分の問題として考え行動することが大切なのだと呼びかけています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs についてもっと詳しく知りたい人は、子ども向けにわかりやすく書いてある『世界を変えるSDGs』(あかね書房)が名寄本館にありますので、読んでみてください。次ページの「テーマ別おすすめ本」でも、SDGsについて書かれた本を紹介していきます。

今回のテーマ別おすすめ本は「SDGsってなんだろう？」です。

「人は一生のうち三年をトイレで過ごす」



『トイレをつくる 未来をつくる』

会田法行 // 写真・文 ポプラ社 2014年
¥1,500 49/ア 児童

私たちの生活に欠かせない場所・トイレ。けれど、世界には、外で排泄することが当たり前の地域もそう珍しくありません。東ティモールのマヌタシ村もトイレがない地域の一つでした。トイレ作りのプロジェクトに参加して、村の人たちの暮らしはどう変わったのでしょうか？世界のトイレ事情についてもっと詳しく知りたい人は、『トイレの話しよう 世界65億人が抱える大問題』ローズ・ジョージ // 著 (NHK出版) もおすすめです。

「灯台下暗し！身近にあったエネルギー」



『空から宝ものが降ってきた！』

雪の力で未来をひらく
伊藤親臣 // 著 旬報社 2016年
¥1,500 501/イ 一般

「もう、雪はいらない」こんな言葉よく聞きますか？雪がたくさん降る地域に住む人々にとって雪はじゃまなものと思われがちです。しかしこの本では世界初の雪冷房の学校・雪冷蔵倉庫など、雪をエネルギー資源として活かす取り組みや活動を紹介しています。雪をいらないゴミとみるのか、可能性を秘めた豊かな資源とみるのか、見方を変えることで未来をよりよいものにすることができるかもしれません。

「できることから！」

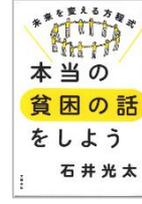


『髪がつなぐ物語』

別司芳子 // 著 文研出版 2017年
¥1,300 36/ハ 児童

長く伸ばした自分の髪を寄付する「ヘアドネーション」。髪は医療用ウィッグとして使われます。そのヘアドネーションを病気やその治療で失ってしまった子たちに無償でウィッグを提供する団体や企業の取り組み、髪が抜けて痛む子の心やその子を思う周りの人々の心を伝える本です。健康は身体と心のバランスがとれてこそ。年齢、性別問わずにできるこの活動をボランティアの足がかりにしてみませんか？

「意外と身近にあるかもしれない」



『本当の貧困の話しよう』

未来を変える方程式
石井光太 // 著 文藝春秋 2019年
¥1,500 368/イ 一般

この本は「貧困」が原因で、いじめ、虐待、教育機会の喪失、犯罪など社会問題の多くが発生している、ということが書かれています。難しそうな内容ですが、実例や統計もたくさん用いられていて、文章も「17歳の君たちへ」語りかける形で書かれているので読みやすいです。貧困が個人だけではなくどのように社会に影響を及ぼすのか、またそれをどのように変えていけばいいのか、一緒に考えてみませんか？

「わかっていたらカッコいい！」



『2030年の世界地図帳』

あたらしい経済とSDGs、未来への展望
落合陽一 // 著 SBCクリエイティブ 2019年
¥1,500 304/オ 一般

「SDGs」。最近よく耳にするけれど結局どういう事なのか、もやっとなしませんか？そんな人に手にとってもらいたいのがこの本です。貧困、エネルギー、ジェンダーなど17の目標のもとグラフや地図、イラストなどで深くわかりやすく掘り下げられています。きっと自分の身近な問題として感じる事ができると思います。将来の進路を決めるきっかけにもなるかもしれません。テレビでおなじみの池上彰氏との対談も収録。

「これを読めばあなたも始められる！」



『グレタのねがい』

地球をまもり未来に生きる
ヴァレンティナ・キャメリニ // 著
杉田七重 // 訳 西村書店 2020年
¥980 Y451/カ ヤングアダルト

真剣な顔つきで堂々と訴えるグレタ。みなさんも記憶に新しいのでは…。この本は地球を守るために学校ストライキを始めたグレタのこと。そして、SDGsの13番目の目標「気候変動に具体的な対策を」を達成するために私たちはどうすればよいか分かりやすく書いてあります。何か一つでも行動できれば、この地球を守ることができるんですよ。ページも少なくグレタのことを知りたい人や環境問題に関心がある人はぜひ読んでみて！